

## 第5回垂井町庁舎跡地等活用のあり方検討委員会 会議録

日 時	令和2年3月25日（水）16時00分～17時00分
場 所	垂井町役場 2階 大会議室
出席委員	<p>【委員】</p> <p>竹内委員、鶴田委員、長谷川委員、木下委員、桑原委員、 沢島委員、片岡委員</p> <p>【事務局】</p> <p>総務課長 北村、管財係長 小森、平墳主査、西脇主査</p> <p>【コンサルタント】</p> <p>玉野総合コンサルタント株式会社</p>
欠席委員	なし
傍 聴 人	9名
内 容	<p>1 挨拶</p> <p>2 委員会での検討事項について</p> <p style="padding-left: 20px;">・基本計画（案）について</p> <p>3 その他</p>

事務局	～開会にあたって～
竹内委員長	あいさつ（略）
事務局	（議事進行をお願いするまでの間、議事進行）
委員長	それでは、この後進行をさせていただきます。円滑な進行についてご協力をよろしく願いいたします。まずパブリック・コメントの意見への対応についてということで、事務局からご説明をお願いいたします。
事務局	資料に基づき説明（略）
委員長	ただいまのご説明につきまして、ご質問やご意見はございますでしょうか。批判的ではなく、具体的に建設的なご意見をたくさん頂戴しております。方向性としては、これはあくまでも基本計画ですから、それほど具体的に書き込んでいるわけではないですが、方向性としては多くのものについてはこの話題にも上ってきたようなところが多いと思います。さまざまな調査をして、ニーズがあり、また担い手といいますか、それを推進していただけるような団体であったりが見つかれば、それを具体的に検討していきますが、ここではそこまで具体的でないというのが現時点のところだと思います。あとは、私どもの会議体については、今年度というよりは昨年度の段階で住民のニーズのところできざまなご意見を聴取した中ではそれほど強い希望は入っていなかつ

	<p>たので、昨年段階から取り上げられてきていないということですが、今回最後のパブリック・コメントで意見が寄せられたというところで、ここで方向転換するというのもちょっと難しいのかなど。基本的な考え方が、使い方を固定しないで、比較的低コストで多目的に利用できるものをこしらえていって、それを供用していくという考え方ですので、あまり大きなものを、しかも目的が非常に限られたものを作るという考え方に立っていませんので、そういう点では本計画の中でそうしたかなり具体的な目的を持ったものをしっかりと作るというのは馴染まないのかなというところなのではないかと理解しています。よろしいでしょうか。特にご発言は。そうしますと、先ほどご説明いただきました31ページの赤字のところ、修正いただいて、前回皆さんにご協議いただいた基本計画案を本会議としてとりまとめさせていただきましたということでよろしいでしょうか。何かご発言があれば。特にご発言もないようですので、この内容でもって本会議での基本計画案とさせていただきますと思います。ありがとうございました。冒頭申し上げたとおり、5回の検討会議をさせていただきまして、さまざまなご検討をいただけてまいりました。ということで、検討会議としてとりまとめたいと思います。それでは、次第3、その他でございますが、何かございませうでしょうか。</p>
委員	<p>私のほうから一言、お礼とご報告をさせていただきたいと思います。まずもって、当あり方検討委員会につきましては、昨年の7月に発足以来、今回で5回目にわたり開催の上、貴重なご意見をいただきまして本当にありがとうございました。特に最後のまとめの段階になりまして、集約する行政機能について再検討する必要が生じてまいったわけですが、計画案の19ページの見出しのところで、「状況を踏まえて今後必要に応じて見直しを行う」と上手にまとめていただきました。本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。それと、今回の庁舎跡地の活用についてでございますが、去る3月議会におきまして庁舎跡地活用に関する調査特別委員会が議会に設置されましたので、ここに皆様にご報告をさせていただきます。よろしく願いいたします。どうもありがとうございました。以上でございます。</p>
委員	<p>その調査特別委員会が設置されたのは新聞で見ましたが、議員の人たちがどういう意図をもって設置されたとか、そこら辺は直接聞いてみたいのですが、この場では無理ですか。</p>
委員長	<p>この場でというのはちょっと合わないような気がしますけれども、委員の方ではないので。</p>

委員	そこを何とかというのは。
委員長	そこを何とかというか、それはどういうことで、趣旨としては。
委員	唐突に調査特別委員会ができて、その意図がよくわかりませんので、私らとしては、勝手な勘繰りですが、今までいろいろ決めてきたことがひょっとして大きく変わる可能性があるのかなと疑いもするわけですので、少なくとも私はそういう印象を持ったものですから、どうなのかなというところをお聞きできればということなのですが。
委員長	形としては、この会議は町から指名されて、町民の方と、私だったり、専門家という立場で参加させていただいて意見をまとめるまでが仕事でして、それを町に出して、それを町がどのように受け止めるかというのは、通常私はこういうのを今までにどれぐらいやってきたか数えきれないぐらいやっていますが、大体出したものはそのままというのが普通ではありますが、基本的にはこれはあくまでも諮問されたような形でそれを出すわけで、あと、町のほうでどう受け取るかというのはある意味それはお任せしているところなのかなとは思いますが。委員さんが垂井町民として町会議員さんがどのようにリアクションされるかについてご関心があった場合は、直接町会議員さんに町民としてご照会いただければいいのかなと。この会議の機能としてそれについてこの場で議論するのはちょっと違うかなと。
委員	別に議論ではないのですが、どういうお考えがあったと。恐らく勝手な勘繰りですが、この場で、これまでのいくつかあった委員会の席で議員として何か発言をしたかったというのがあったのではないかなと勝手に勘繰りをしておりますが、そこら辺のところはどうだったのかというのは、恐らくここの委員の人たちもみんな思っているのではないのかなと思っているのですが、駄目ですかね。
副委員長	ちょっといいですか。議員さんの調査特別委員会の設立の目的、意図、それをもしよければ町さんのほうから報告していただければある程度理解されるのでは。目的と意図だけですよ。
委員	目的と意図と言いますと、私どもから直接回答しにくい。
副委員長	設立したときに、こういうことで設立するからという、こういうことでというのは当然ご報告されていますよね。
委員	はい。基本的には今回の計画をベースに議会側としても調査をしていくということであると思っております。特に行政機能の部分がまだ不確定といいますか、確定しておりませんので、特にその部分についてはまだ揉まなければいけないところがありますので、私はその部分が中心になってくるかなと思っているのですが。

委員長	何にしても、この会議として今日たまたま町会議員の方が見えているのかどうか私は知らないと言えば知らないというところで、会議の形としてはそういうものには踏み込まないというか、特別にセットしないとそれはできないわけですから、そういう場面を作っていくというのは異例中の異例ということで考えられないというところだと思うので、この会議としてはこれで締めるというのが、それ以外の進行というのはちょっと考えられないと思います。
委員	ほかの委員さんが別にと言われるのなら、個人的にまた後で聞いておきますが、せっかくだと思ったからですけど。
委員長	結構波及効果があると思うので、これで、それでそういう会をしようとはほかの会議でもそうしなければいけないんだというふうになってしまいます。やはりこの会はこの会として閉じると。よろしいでしょうか。それでは、以上、基本計画案についてご了解いただきまして、この会としての検討事項を終了させていただきたいと思います。それでは、事務局のほうでお願いいたします。
事務局	委員の皆様、ありがとうございます。今日いただきました基本計画案につきましては、この後、委員長から町長に報告していただきたいと存じております。また、ご報告いただきました基本計画案につきまして町の内部の組織であります経営統合会議に諮った後に完成とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。町長がこちらに参りますので、しばらくお待ちください。
事務局	それでは、本日とりまとめいただきました垂井町庁舎跡地等活用基本計画案について、町長に報告をお願いいたします。
委員長	委員長より町長に答申
町長	改めましてご挨拶を申し上げたいと思います。委員長さんはじめ、庁舎跡地等の活用のあり方検討委員会の皆様にはこの1年間かけて議論いただき、その取り組みに対しまして改めて厚く御礼を申し上げます。感謝、敬意を表したいと思います。ありがとうございました。 今回の諮問につきましては、実に50数年ぶりの旧庁舎の移転の跡地をどうしていくかといった非常に大きな課題がございまして、公共施設等のあり方そのものが全国的に叫ばれる中での諮問とさせていただいたところでございます。策定に際しましては、各種のお立場からご意見をいただくことがこうした計画策定にあたりましての入口であると考えておりまして、このたび検討委員会に諮問させていただいたところでございます。先ほど委員長からご答申をいただきましたその内容につきましてはしっかりと精査をさせていただく中で、スピード感を

	<p>持って事に当たりたいと、そのように考えている次第でございます。</p> <p>どうかこれからも機会がございましたらご指導のお立場でぜひともご助言を賜ればと考えているところでございます。本日はこのようにまとめていただきましたこと、心から感謝を申し上げ、御礼のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>これもちまして、第5回垂井町庁舎跡地等活用のあり方検討委員会を閉じさせていただきます。大変ありがとうございました。</p>